

温海ふるさと通信

平成27年5月24日発行
鶴岡市温海庁舎総務企画課

★★★★★



鶴岡市
合併・市制施行
10周年

祝

Tsuruoka City 10th Anniversary

合併後10年、将来に向けて大きく飛躍する年に

鶴岡市は、平成27年10月1日に市制施行10周年を迎えます。1年間にわたって、この節目の年を記念した様々な行事や催しを行います。ぜひご参加ください。



ユネスコ
食文化創造都市
鶴岡
UNESCO Creative City
of Gastronomy

日本唯一のユネスコ食文化創造都市・鶴岡をPRするため、「鶴岡食文化ログ」を作成しました。

鶴岡の食文化を発信するイベントのチラシや鶴岡の「食」を広くPRする商品のパッケージなど色々な場面で活用できます。

マリンタウン鼠ヶ関住宅団地
「夕陽の里」

宅地分譲のお知らせ

販売価格帯：337万1千円
～393万5千円

単価：約13,600円/m²
(約44,700円/坪)

販売区画：3区画(面積：249.42m²～291.17m²)

※今年に入り1区画が分譲済となり、残りわずかとなりました。お早目に！

詳しくはホームページで
<http://211.10.75.82/static/tochi/index.html>

第30回温海さくらマラソン大会

4月19日(日)あつみ温泉を主会場に2kmから30kmまで1,723名がエントリー。桜は満開!天気は最高!絶好のコンディションの中行われ、ゲストランナーとしてソウルオリンピック日本代表の浅井えり子さんが一緒に走りました。開会式では沖縄県から参加した「沖縄県ランナーズクラブ」のみなさんによる三線と唄で盛り上がり、30回の記念大会に花を添えていただきました。



豪華!エビ汁

大漁旗フェスティバル 5月3日 鼠ヶ関港

24回目を迎え、天候にも恵まれ朝から長蛇の列で大賑わい!

オープニング:
辨天太鼓



漁船による海上タクシー

漁船クルージング



ずぶ濡れ:魚のつかみ取り

あつみ温泉 ばら園まつり あつみ温泉ばら園が見頃を迎えます。

今年のおつみのばらはどんな色？

初夏のひととき、色とりどりのばらに囲まれて過ごしませんか？
 6月6日（土曜）～6月30日（火曜）に、あつみ温泉ばら園まつりが開催されます。
 6月7日（日曜）には、ばらを楽しむお茶会や、フラワーアート教室も！
 また、6月6日（土曜）から21日（日曜）まで、園内にお休み処が設置されます。
 園内を巡りながら、ゆっくりと休憩ができます。
 庄内唯一の歴史ある「ばら園」に、是非お越しください。
 ◇開催期日：6月6日（土曜）～30日（火曜）
 ◇会場：あつみ温泉ばら園
 ★6月7日（日曜）には、11時～ばら園にて、
 ○ばらを楽しむお茶会
 ○フラワーアート教室
 が開催されます！！



6月～10月に見頃を迎える「あつみ温泉ばら園」は約90種3000株の四季咲きのばらが次々と花を咲かせます。
 美しいばらの花々と温泉街散策をお楽しみください。



第20回

新鮮な生イカ

イカ汁

するめイカ卓球世界大会

うまイカ干しイカイカまつり 鼠ヶ関港で、旬のイカの大売出し！！

イカ飯、イカ汁などイカ料理やとれたての海鮮の販売はもちろん、イカ墨書道、特産品抽選会、イカのトンビ飛ばし世界大会、スルメイカ卓球世界大会、辨天太鼓の演打 など・・・イベント盛りだくさん！
 ◇開催期日：6月21日（日曜） 9：15～14：00
 ◇会場：鼠ヶ関漁港 ※日本海東北自動車道「あつみ温泉IC」より車で約15分！
 ◇お問い合わせ先：あつみ観光協会（電話0235-43-3547）



温海トライアスロン大会

平成27年

7月19日開催

Sunset Beach Triathlon



あとがき 「さなぶり」 田植えが終わり田の神祭りをして田の神を送る祭のこと。

昔から田植えの後に開かれる宴のことで、漢字では「早苗饗」と書きます。「さ」とは田の神様のことで、田植えが無事に終わったことへの感謝と五穀豊穡を願う意味があります。また、田植えを手伝ってくれた人の労をねぎらい、酒を酌み交わすことで、地域の絆を深める役割もあったようで、昔から地域の支えあいの「結（ゆい）」が関係しているとも言われます。温海地域の田植えもほとんど終わり「さなぶり」の時期です。が、近年は一部集落で「さなぶり球技大会」などが残されているくらいで、「さなぶり」という言葉を聞くことはほとんどなくなりました。

温海町史の別冊に佐藤光民先生が執筆した「温海町の民俗」という本があります。この本を読むと、生活文化の変化に伴い、昔ながらの習わしが失われたもの、失われつつあるものが多くあることに気付かされます。

温海地域の集落では、集落の歴史や生活文化を再認識し、それを本にしたり、映像に残したりして後世に伝えようという動きがみられます。これは少子高齢化が進む中で、自分の生まれ育った集落に自信と誇りを持ってもらいたいという気持ちの表れであると思われます。

温海地域では少子化が進む中で来年4月には4つの小学校が統合され、中学校1校と小学校2校となります。皆さんが暮らしていたころには想像のできなかったことだと思いますが、現実です。学校の統合により地域性が薄れていく中でも、自分たちの生まれ育った集落に自信と誇りを持ち、将来の温海を背負って立つ人間に育ててくれればいいと思います。

[担当：鶴岡市温海庁舎総務企画課 課長補佐 五十嵐浩一]